

働くや就活へつながると真ん中の経験を



活動レポート 2024

ガ・ク・チ・カ

学生時代に、

あなたが最も力を入れて

頑張った経験は？

この質問は、大学生活を経た就職活動の面接の際に、必ず聞かれるものです。本格的な就職活動を迎えたとき、どんな経験を語ることができるか、4年間の大学生活における時間の使い方は非常に重要です。

社会人への移行期間でもある大学生活の過ごし方は、自由である一方で、将来に大きな影響を与えます。是非、イメージしてみてください。皆さんは大学での4年間、どのような学生生活を過ごしたいですか？

高校生活



大学生活



社会人生活



実は、期待感を抱いてはじまった大学生活の中で「もっと積極的に行動しておけばよかった」「就活で語れる経験がない」等、大学生活を後悔する学生は約 65 パーセント存在すると言われています。（※Original Point 株式会社 大学生意識調査より）

自由であるが故に、何となく過ごしていると、大学・サークル・バイトの往復であっという間に時間だけが過ぎていきます。

だからこそ、大東文化大学キャリアセンターでは、みなさんの大学生活の可能性を広げる選択肢の一つとして、4年間の大学生活を有意義に過ごすきっかけとなる機会を用意しました。

それが、DAITO キャリアプロジェクトです。



キャリアプロで 働くや就活へつながる
と真ん中の経験を試してみませんか？

「新しいサークル？」 「ゼミ？」

キャリアプロは将来について ちょっと真面目に向き合う 学生のための学びの場です。

プログラムのポイント

1 大学生活や将来活かせるスキル コミュニカ、思考力、プレゼン力をはじめ、大学生活や就活・社会人生活で活かせるスキルを磨くことや強みの発見ができます。	2 仲間や社会人との出会い グループワークが基本のため、学部外の友達、活躍する社会人等、新たな出会いやつながりが得られます。
3 “就活” “働く” のヒント 就活や働くにおけるヒントを、リアルな採用担当者の声などから、聞き、学ぶことができます。	4 学生主体のプロジェクトへ挑戦 前期は企業・団体と連携したプロジェクト、後期は学生主体のプロジェクトを積むことで、スキル獲得や就活に活かせる経験を得られます。

オススメの学生

- # 大学生活を有意義に過ごしたい # 将来やりたいことが漠然としている
- # 学部を超えた友だちと繋がりたい # 大学生ならではの挑戦がしたい
- # 就職や働くに向けて準備したい # 自分の強みや軸を発見したい

キャリプロで取り組むプロジェクトとは

前期のプロジェクト

前期は、プロジェクトを成功させるための基礎を学び、その実践としてミニ PBL を体験しました。東松山キャンパスのある東松山市役所政策推進課からの「デジタル技術を使い、若者に刺さるプロモーションを提案せよ」というお題のもと、チームで課題を探求しました。



「若者にとって魅力的な街とは？」 「魅力を届けるための方法とは？」 を議論しながら、東松山市役所政策推進課の方にプレゼンテーションを行いました。実際に現地に足を運び、調査し、議論した内容が企画となり、外部の方に評価していただいた経験は、大きな自信となりました。

後期のプロジェクト

前期の活動を受けて後期では、「SDGs」「地方創生」「グローバル」「エンタメ」「大東文化大学」の5つのキーワードから興味のあるテーマを各人が選び、興味を持った学生同士がチームを組み、活動しました。その上で、テーマに沿ったサービスのプロトタイプ（試作）を練り上げた後、実際にプランを実行し、最終的にはチームでどんなサービスを作りたいかを形にし、報告会にて発表しました。



プロトタイプを練り上げる過程においては、社会人を巻き込み交渉するチームや、独自で集客を行い、実際にイベントを実行したチームもあり、主体的な行動を起こしていきました。最終的には、起業家へのプレゼンテーションを行い、活動へのフィードバックをいただきました。

前期のプロジェクト - 企業の課題を解決する

前期プログラム @東松山キャンパス -対面講座-		社会人との対話や企業と連携したプロジェクトにより、新たな一歩を踏み出しましょう	
1回目	4/27(土) 13:00~16:00	スタートアッププログラム -仲間とつながりグループワークのポイントを学び、マイテーマを考える-	# 仲間とつながる # グループワークスキル # 自己分析
2回目	5/7(火) 16:45~18:15	大学生活や働くを社会人と考える -社会人との対話から社会と大学の違いを知る-	# 業界・職種を理解 # 社会人とつながる
3回目	5/14(火) 16:45~18:15	社会で求められる力を学ぶ -自分らしいリーダーシップと価値を生み出す3つのPoint-	# リーダーシップ # 働くを体感する
4回目	5/21(火) 16:45~18:15	働くを体感する産学連携型PBL -企業との協働プロジェクトを始動する-	# 企業プロジェクト始動 # チームビルディング
5回目	5/28(火) 16:45~18:15	価値を生み出す“情報収集力” -価値を生み出すための情報収集力とターゲット設定-	# 戦略立案 # リサーチ力
6回目	6/4(火) 16:45~18:15	価値を生み出す“価値創造力” -価値を生み出すための思考法-	# アイデア発想 # 思考力
7回目	6/11(火) 16:45~18:15	中間発表 & プロジェクトの質を高める“チーム学習” -コンテンツとプロセスの振り返り-	# 中間発表 # 協働力を磨く
8回目	6/18(火) 16:45~18:15	グループワークによる方向性の具体化 -メンターの助言を踏まえて、価値を具体化する-	# グループワーク # チーム学習
9回目	6/25(火) 16:45~18:15	価値を届けるプレゼンテーション -プレゼンテーションに必要な事前準備とテクニック-	# プレゼン力 # 資料作成力
10回目	7/6(土) 10:00~13:00	産学連携型PBL 最終プレゼンテーション -プロジェクト成果発表と振り返り-	# 成果発表 # 強みを発見する

前期の優勝チーム - 各グループのプレゼンバトル

官学連携型 PBL 最終プレゼンテーション

テーマ 東松山市役所より『デジタル技術を使い、若者に刺さるプロモーションを提案せよ』

A グループ 優勝チーム

東松山市における
若者の社会増加誘起プロジェクト



チームの強み

- ✓ 周辺地域在住
- ✓ アウトドア志向
- ✓ グルメ好き

ターゲットの明確化

デジタルエンターテインメント
-年齢別のサービスの提供、案件導入の増加

参加型イベントの開催

東松山(産学連携型PBL)の発展

B グループ 優勝チーム

え？東松山市ってどこ？なにがあるの？
なんてもう言わせない



ターゲット

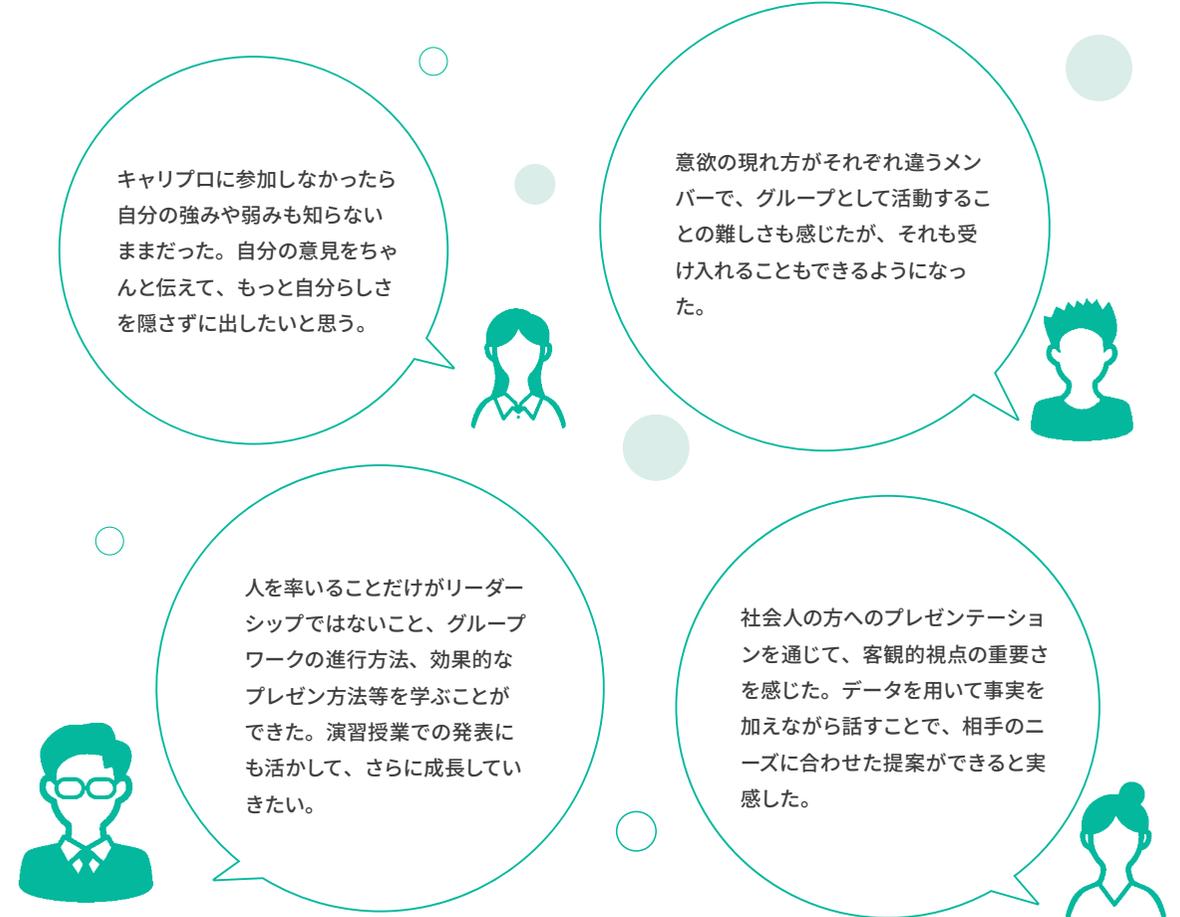
東松山に通学する
2万人の学生

大層文藝の学生にアンケート!

具体的な部の例

- 地域活性化部
- イベント部
- PR部

前期プロジェクトを通じた学びの声



キャリアプロに参加しなかったら自分の強みや弱みも知らないままだった。自分の意見をちゃんと伝えて、もっと自分らしさを隠さずに出したいと思う。

意欲の現れ方がそれぞれ違うメンバーで、グループとして活動することの難しさも感じたが、それも受け入れることもできるようになった。

人を率いることだけがリーダーシップではないこと、グループワークの進行方法、効果的なプレゼン方法等を学ぶことができた。演習授業での発表にも活かして、さらに成長していきたい。

社会人の方へのプレゼンテーションを通じて、客観的視点の重要性を感じた。データを用いて事実を加えながら話すことで、相手のニーズに合わせた提案ができると実感した。

PBL 協力企業の声 東松山市役所 活性化戦略室 新村室長

まずは、DAITO キャリアプロジェクトに参画する機会をいただけたことに感謝申し上げます。プロジェクトに参加させていただきましたが、学生の皆さんのプロジェクトに取り組む姿から、多くの刺激を受けるとともに、皆さんの熱意や斬新なアイデアに感心させられました。

学生の皆さんにとっては、プロジェクトにおいて仲間と一緒に課題に取り組むことで、自分の価値観や強みなどを見つめ直す機会が得られたのではないのでしょうか。また、グループワークを通じて、協働や問題解決能力、コミュニケーションスキルなど、実務に必要なスキルを学ぶことが出来たのではないかと思います。これらの経験は、大学生活をより充実したものにするだけでなく、将来的なキャリア形成において非常に有益なものになることでしょう。

プレゼンテーションでは、学生の皆様の熱意や真剣さが非常に印象的でした。今後のキャリアにおいても、皆さんがこれらの経験を活かして大いに活躍されることを期待しております。プレゼンテーションにおいて発表していただいた斬新なアプローチや、学生の皆さんの視点から見た課題の捉え方は、私たち行政にとって新たな視点を持つきっかけとなり、参考にすべき点が多いと感じたところです。

最後に、改めて素晴らしい機会をいただきましたことに感謝申し上げます。キャリアプロを通じて成長した学生が、社会で活躍し、またどこかで一緒に仕事ができることを楽しみにしています！



▲ 真剣な表情で講評を聞く決勝進出チーム

後期のプロジェクト - 興味からサービスを創る

後期プログラム @東松山キャンパス 対面講座-		学生主体のプロジェクトにより、世の中に新たな価値を生み出し、自分の強みや理想を磨きましょう	
1回目	9/28(土) 13:00~16:00	大学生ど真ん中プロジェクトスタート -自分らしいリーダーシップとプロジェクト推進の準備をする-	# 学生プロジェクト始動 # チームビルディング
2回目	10/8(火) 16:45~18:15	事業推進者の取り組みに触れ、視野を広げる -プロジェクトに取り組む意義やポイントを理解する-	# 事業ノウハウを学ぶ # 社会人となつがる
3回目	10/15(火) 16:45~18:15	プロジェクトを円滑に進めるロジカルシンキング -プロジェクトを加速させる思考法-	# 思考力 # 2つの思考スキル
4回目	10/22(火) 16:45~18:15	価値を広げるマーケティング -ターゲットに価値を届けるためのHowを学ぶ-	# アイデア発想力 # マーケティング力
5回目	10/29(火) 16:45~18:15	プロジェクト中間発表とプロトタイプ的设计を考える -プロトタイプの意義を理解し、構築する-	# デザイン思考 # プロトタイプ設計
6回目	11/5(火) 16:45~18:15	チームビルディングと相互フィードバック -プロジェクトの質を高める振り返り-	# チーム学習 # 自分の強み・課題発見
7回目	11/12(火) 16:45~18:15	グループワークによる方向性の具体化 -メンターの助言を踏まえて、価値を具体化する- ※学生メンター実施会	# グループワークの実践 # チーム学習
8回目	11/19(火) 16:45~18:15	プロトタイプ中間発表と成功に導くための学び直し -プロジェクトに必要なポイントを学び直す-	# 経験学習 # グループワークの実践
形にしたプロジェクトのプロトタイプを実践する			
9回目	12/3(火) 16:45~18:15	価値を届けるプレゼンテーション -プレゼンテーションに必要な事前準備とテクニック-	# プレゼン力 # 資料作成力
10回目	12/10(火) 16:45~18:15	価値を届ける発表会 -発表と成果発表会に向けた準備- ※学生メンター実施会	# プレゼン力の強化 # 成果発表の準備
11回目	12/21(土) 10:00~13:00	プロジェクト最終プレゼンテーション -プロジェクト成果発表と振り返り-	# 成果発表 # 自己分析・目標設定

後期の表彰チーム

1位 チーム名：チーム時の鐘/地方創生

オーバーツーリズムって？

—川越の安全と川越の良さを守り、快適な場所づくり—

Why

観光客の増加により道端に人が溢れる
オーバーツーリズムが発生！

↓

交通の安全性における地元住民の不安

↓

メイン通りと裏道に分散できれば
解消される！？

- 達成目標
川越の良さを伝えつつ交通の安全性を確保し、地元住民の不安を取り除く
- 方策(提案)
観光客をメイン通りと裏道に分散させる
- 実施内容
グルママップの作成、インスタグラムでの情報発信、アンケート調査

2位 チーム名：友フェス/インタム

他学年・他学部と仲良くなるためのゲームイベント開催

私たちの考えた仲良くなるための3要素

- 少人数のグループ
- 一緒に何かを行う
- 話す時間が多くある

- 事前調査
学生の意識確認「他学年・他学部と仲良くなりたいですか？」
- 方策(提案)
少人数のグループで話す時間が確保できるイベントの開催
- 実施内容
校内をめぐり、チームで協力する謎解きゲームイベント

後期プロジェクトを通じた学びの声

普段の授業では学ぶことのできない「行動すること」や「自分の思いを表に出す」という感覚を肌で感じる事ができた。

自分自身が何ができて何ができないのかを知ることができたのが一番大きな学びだった。

困った時は先生、先輩、そして仲間を頼り力添えしてもらおう。物事を難しく考えすぎないことも大切だと学んだ。

同じチームであっても目標に向かう熱量はそれぞれ違うから、自分と同じでなくてもしっかり受け入れることが大切だと学んだ。

プレゼンテーション評価者の声

今回のプロジェクトを通じて、皆さんが「困りを捉え、解決する」というビジネスの本質を真剣に学ぶ姿がとても印象的でした。特に、「困り」の深掘りにしっかりと時間をかけたことで、当事者意識を持ち、主体的に取り組む姿勢が際立っていました。その熱意はチームの協働やプレゼンにも表れており、非常に素晴らしい成果につながっていたと思います。

この経験は社会に出てからも生きるものだと思うので、皆さんの今後の活躍がとても楽しみです！



FLoW 株式会社
代表 位川 洋太

キャリアプロの学びを支えるサポーター

キャリプロ卒業生によるメンター制度とは

大東文化大学の先輩にあたるキャリアプロ経験者が、キャリアプロの現役受講生を支える制度です。グループワーク主体のキャリアプロでは、迷うことも沢山あります。メンターが1グループに1人以上はいることで、皆さんの考えを深めたり行動を後押ししてくれます。

経験者だからこそ、悩みや不安に寄り添ったサポートができます。また、以下の役割にあるように、1人1人が活性化するようなサポートを心がけています。このように様々な人から学びのサポートがあるからこそ、誰でも安心して挑戦することができる環境がキャリアプロにはあるのです。



キャリプロメンターの声

メンター活動を通して、ヒトとコトに分けて考えることを学びました。受講生のために考え、伝えるメンターの活動は自己成長になること間違いなしです！成長意欲のある方、意欲のある仲間と関わりたい方はメンタープログラムに是非参加してみてください！！

受講生に答えを提示するのではなく、思考の方向性を示したりディスカッションの質を高めたりするための問いかけをする難しさに始めは苦戦しました。しかし、場数を踏んでいくとともに各グループに必要な声掛けを考え言語化して伝える力を習得できました。また、活動の中で講師の高橋さんやメンター2年目の先輩メンターさんから定期的にフィードバックをいただき、自分では気づくことができなかった強みや課題に向き合えた一年間になりました。メンター活動には、受講生とはまた違った楽しさがあり、とてもおすすめです！



キャリプロ進行

Original Point (株) 代表 高橋政成



このプログラムを経て、「意識・行動が変わる」大東生のリアルを目の当たりにしてきました。4年間の大学生活、授業で学ぶ、友達と遊ぶ、いろんな時間の使い方があると思いますが、1~2割の時間を将来の自分のために投資する。そんな、ちょっと真面目な時間の使い方ができると、みなさんの大学生活やその先の就活・働くがよりよく前進すると思います。普段、教育領域の会社を運営しているちょっと変わった立場から、引き続きみなさんの学びをサポートしていければと思います。

キャリプロを支える人たち



国際関係学部 国際関係学科
細田咲江 教授（キャリアセンター所長）

大学での新しい学びの場である「キャリアプロ」の活動、お疲れ様でした。1年生は入学直後の右も左もわからない状態から、2年生は新学期が始まってすぐのスタートで、何をやっていくのかワクワクとドキドキのスタートだったかと思います。それでも、初めて体験するユニークなプログラムにチームで取り組む中で、学部を超えた仲間との出会いがあり、自分の興味の方向性に気がつき、大学での目標を見つけた学生もいることでしょう。大学とは、立場や価値観の違う仲間が集い、講義だけでなくあらゆる場で交流し、互いに刺激し合って友情を育み、人として成長する場です。「キャリアプロ」の皆さんは、この1年で成長した自分に自信を持ち、次の活動のステージに進んでいってください。私たちサポーターは、これからも皆さんを応援し続けます。成長の歩みをとめることなく、大東文化大学での学びを深めていきましょう！

キャリアセンターの声

学生の皆さんが試行錯誤しながら成長していく姿を目の当たりにし、大変感慨深いものがありました。高橋代表のリード、メンターのサポート、そして皆さんの努力が結び付いて一つのプログラムが完成していくという過程は、これからの人生において貴重な経験となるはずで、今後の活躍に期待しています！